



# モニター通信



モニター通信を市ウェブサイトに掲載しております。ページID検索で「1017849」と検索してください。

## ごみ減量親子モニターを実施しました！

市内の小学生とその保護者を対象に、ごみと資源に関する講義や工作、また工場見学を通じてごみの減量やリサイクルについて学んでいただきました！

学習テーマ ①紙 7月25日(木)実施 ②ガラス 7月29日(月)実施

今回は

### ①紙の講座

の様子を紹介します！



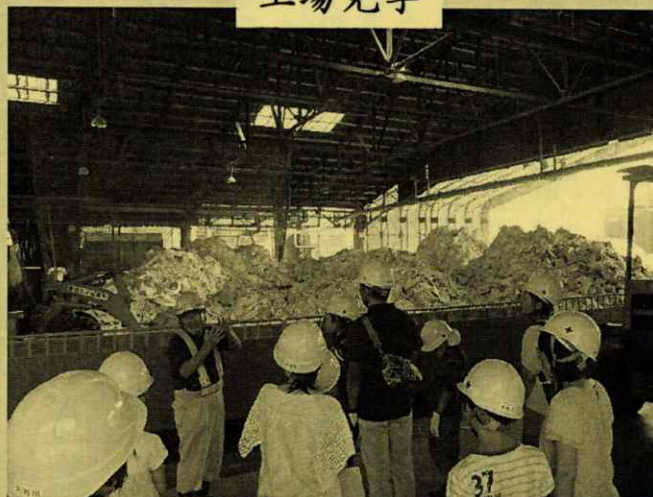
ごみと資源の学習



工場見学



ハガキ作り



親子モニターにご参加いただいた小学生の皆さんのレポートを一宮市立中央図書館で掲示します。

期間：11月12日(火)～19日(火) ※図書館の開館時間に準ずる

場所：一宮市中央図書館(栄3丁目1番2号 尾張一宮駅前ビル『i-ビル』)

5階児童図書エリア(図書館内専用エレベーター北側)

掲示物：「①紙について」「②ガラスについて」のレポート






紙類のリサイクルの流れ

家庭など

① しげん回しゅうなどで古紙が集められる。

「新聞紙、ダンボール、牛乳パックなど」

古紙回収業者



② 紙類でない物は取りのぞき機かいで種類ごとにトントンずつのかたまりにつぶし、せい紙会社へ持ちこむ。

せい紙会社

③ 持ちこまれた古紙を巨大なミンキサーのような機にかいて水などを入れてドロドロにする。

④ インクを取りのぞきし、かりあらう。

⑤ あらったドロドロの古紙をさらにほごしたりおしつぶしたりする。

⑥ 紙すきの機かいて入れて原紙を作る。

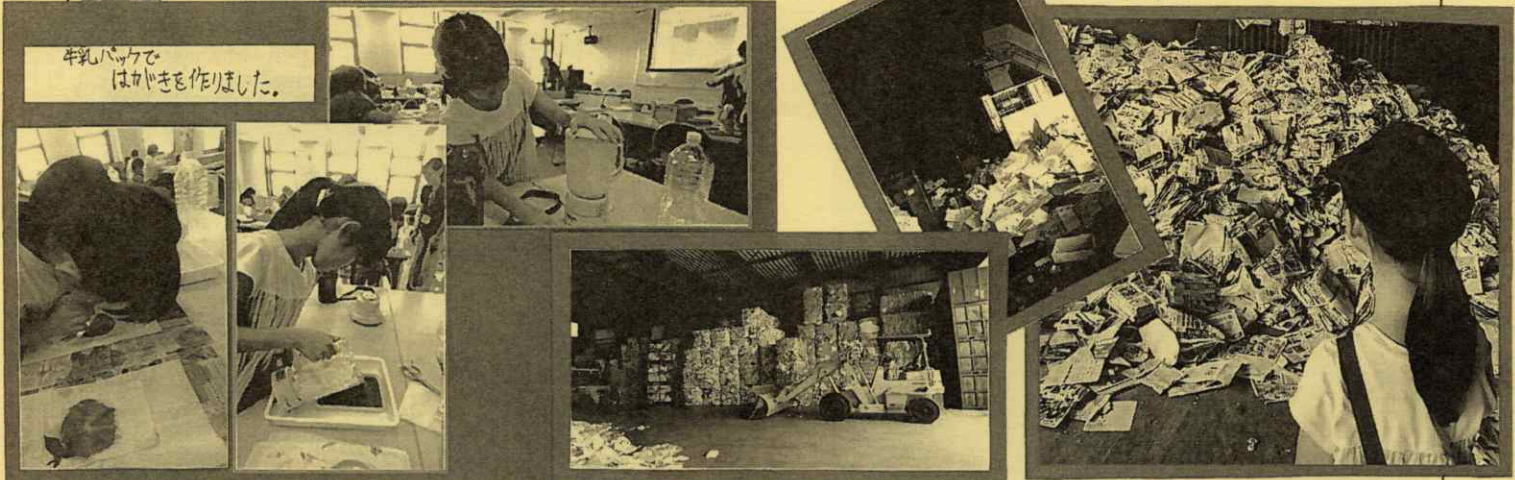
⑦ 原紙ギールの間を通ししてほる。

⑧ 最初原紙の水分を99%。たつたものは最後にドライヤーでかわかされる。ころには水多しの紙になりロールはうにまき上げられる。

⑨ でき上がった白板紙やライナーは注文のサイズに入白わせて四角く切たりまじりされる。

その後

⑩ 印スス会社などで文字や絵などが印ススされ新しいせい品となる。



令和 元年 7 月 25 日 (木) 紙の講座

葉栗北 小学校 4 年生 名前 森 彩 乃

わたしは一宮市のみげんよう親子モーターの紙のこうげに参加しました。しげん回しゅうに出した新聞、ダンボール、牛乳パックなどの古紙がその後どうなるか学ぶことができました。

回しゅうされた古紙は、まず古紙回しゅう会社に持ちこまれます。見学した「宮紙原りよう」では、持ちこまれた古紙を1ヶ月に150トンせい紙工場へ運ぶそうです。その後見学した「王子マテリア」では古紙がリサイクルされ生まれかわる流れを見ることができました。上の図のような流れをたたく時間で、行っていることにも1日に白板紙450トンとライナーダンボール原紙500トンというたくさんの方が全国へ送り出されていくことにもとてもおどろきました。

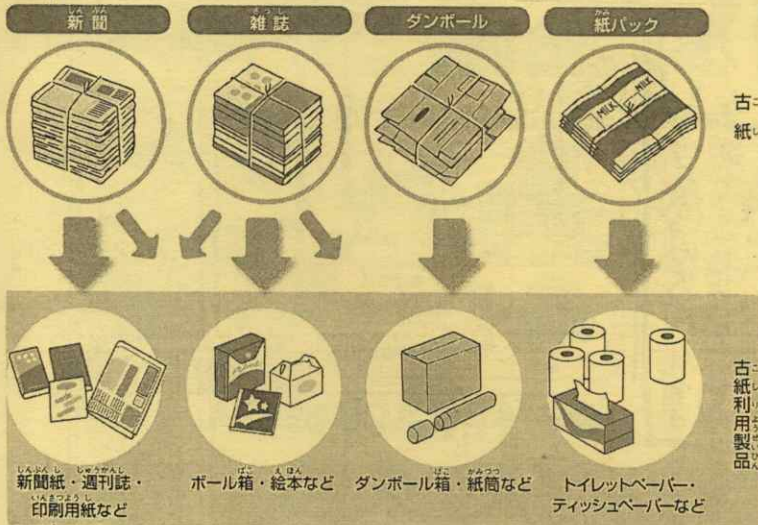
今日の見学を通してわたしたちが家などでする分別が、かにかに大切なことがよくわかりました。特に紙類では古紙の中にくつやカバンのつめ物で使われている紙がまがってしまふと、白板紙にブツブツのもようかできてしまふせ、かく作たものもたくさんすてなければならなくなるそうです。注意したいと思しました。

新しい紙をトントン作るには木を20本切て使わなくてはならないけれど、古紙は5回くらゐはリサイクルして使えるそうです。わたしも分別をし、かりやてでまるとは古紙でできた物を使って、地球にやさしい生活をしたいです。



# 古紙から再生される古紙利用製品

# 回4された古紙の再生 リサイクルの輪



古紙には糸色紙に混ぜてはいけない物



白い紙に包まれた使用済み昇華転写紙



靴の詰物(緩衝材)

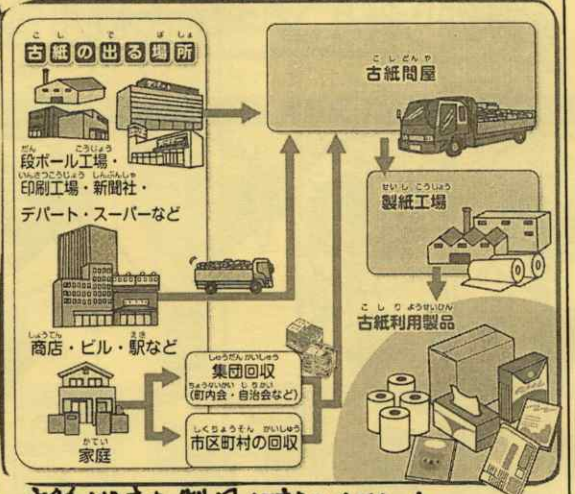


令和 元年 7 月 25 日 (木) 紙の講座

瀬部 小学校 四年生 名前 永野秀映

ぼくは王子王子印刷株式会社江工場に見学に行きました。この工場では紙を作ります。ここで働いている人はみんな働いているそうです。一日で日本全国へ再生紙が77運ばれます。祖父江工場行って分かったことは紙はリサイクルできても何回でも使えるということが分かりました。この学習を通して何がリサイクルできるかを知ることが大切だと学びました。とくに紙やくつものつめ物に使用されているような紙や転写紙は古紙にまぜるとのせもの紙を失ってしまうことが分かりました。今問題になっていることを多くの人に知ってもらいたいと思いました。ぼくは資源に つながるようによく分別することやまだ使いたくないように意識しきこしたと思います。ぼくは、もう一つ意識したいことがあります。それは種類ごとに分けて出すことです。なぜなら古紙の種類によってできる製製品が違います。ぼくにもできることはあることが分かったので取り組んでいこうと思います。今自分の見学で学んだことをかきとりました。





古紙がまた製品になるまで。▲

**捨てる** ← **分ける** ← **集める** ← **使う**

古紙は大切な資源です。捨てるなんてもったいない。

種類ごとに分けな  
いとうまく再生でき  
ません。

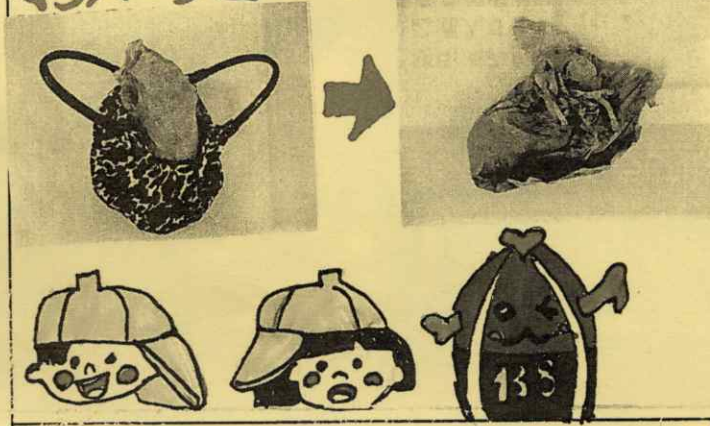
集めれば、ちゃんと資  
源になります。

古紙利用製品を  
選んで積極的に  
使いましょう。

▲イクルの輪

お知らせ!

使用済転写紙



転写紙などの紙は人の目では見分けがつかず、そのまま紙をぶっってしまうと、100以上の紙がむだになってしまうよ!

令和 元年 7 月 25 日 (木) 紙の講座

瀬部 小学校 六年生 名前 木野 雅隆

ぼくは株式会社「宮市原料と王子マテリア株式会社」祖父江場へ行き学んだことは、ちゃんと分けられている古紙はさまざまに製品に生まれ変わる貴重な資源となることや、再紙が日本全国に1100トン(200)運ばれてきたことが分かりました。また、紙を再び紙にするときはたかさんの電気や時間がかかるので資源を続けていくことが大切だと思いました。

この学習を通して、ぼくは雑がみを出すときに注意することに気をつけたりして「捨てる」「分ける」「集める」「使う」という紙のリサイクルの輪を広げて、きここの先の未来まで、続くような紙の資源を大切にしたいなと思いました。紙のことが分かり自分も地球のかん境のためにがんばりたいです。